

令和5（2023）年度



池田小学校だより

＜学校教育目標＞

学びをつなげる

友達とつながる

社会へつなげる

令和6年2月吉日

京都市立池田小学校

校長 青山 剛

TEL 075-571-6872

FAX 075-571-6896

## 学校評価特集【後期】

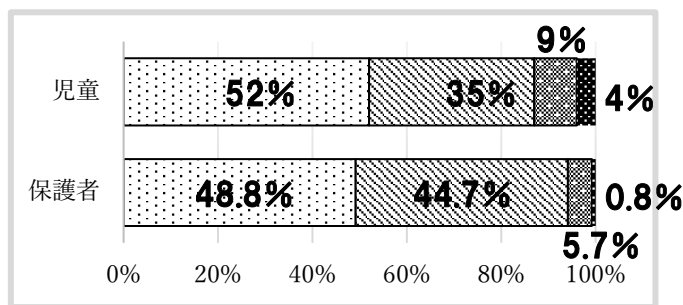
12月に実施しました保護者アンケートの集計ができました。また、同時期に児童アンケートも実施していますので、これらの結果をお知らせします。

本校では年間に2回の学校評価を行っています。子どもたちへの教育は、保護者や地域と学校との信頼関係が大切であり、学校は子どもたちの状況や保護者の思いをしっかり受け止め、教育の充実に努めていきたいと考えています。今後とも子育てについての課題を共有しながら、学校・家庭・地域の相互理解と連携が一層深まることを願っています。

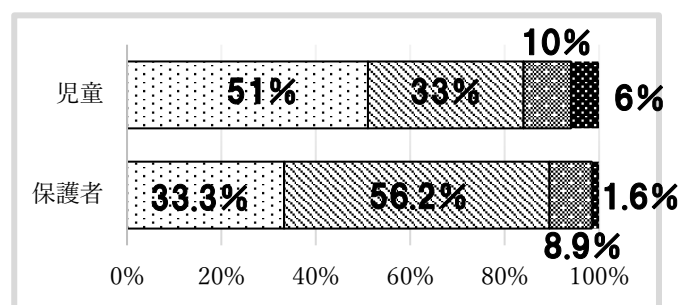
### 1. 児童と保護者が同じアンケート項目

＜表の見方＞ そう思う 大体そう思う あまりそう思わない そう思わない

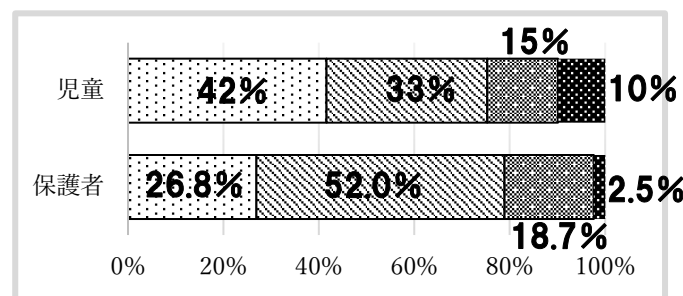
#### ① 学校に楽しく通えている。



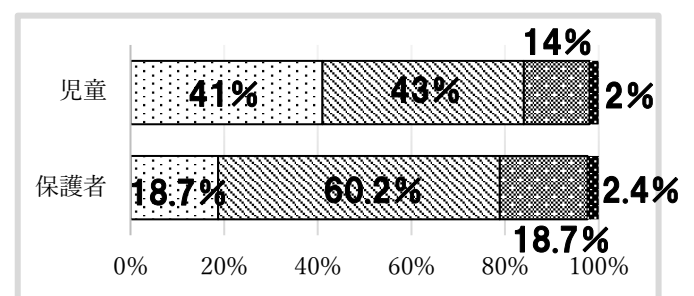
#### ② 困ったことを相談できる相手がいます。



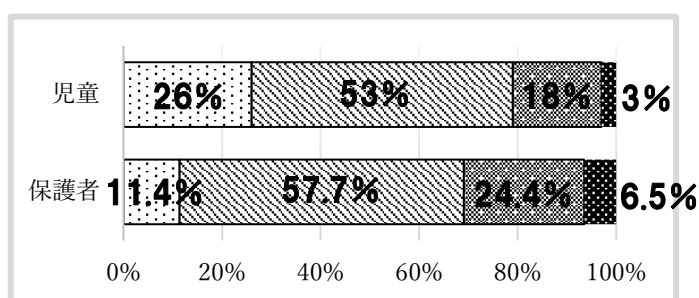
#### ③ あいさつをしている。



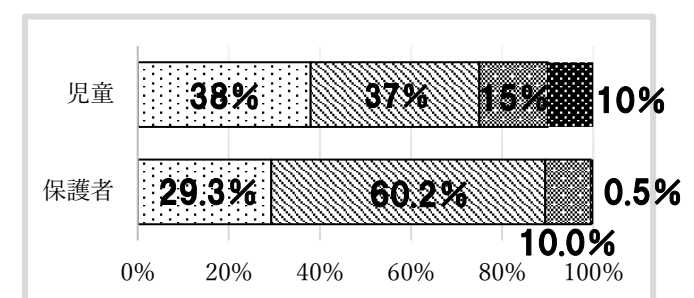
#### ④ 授業は楽しくて分かりやすい。



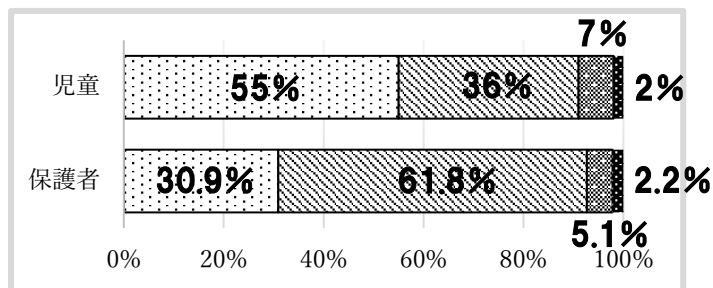
#### ⑤ 正しい言葉づかいで話している



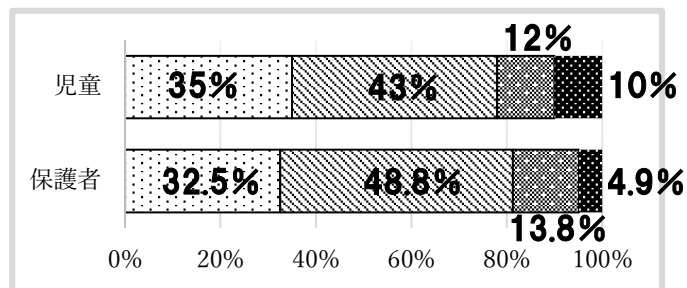
#### ⑥ お家でほめられます。



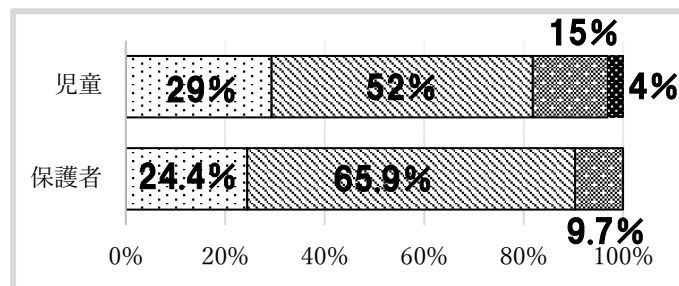
⑦ 友だちと仲良く過ごしている



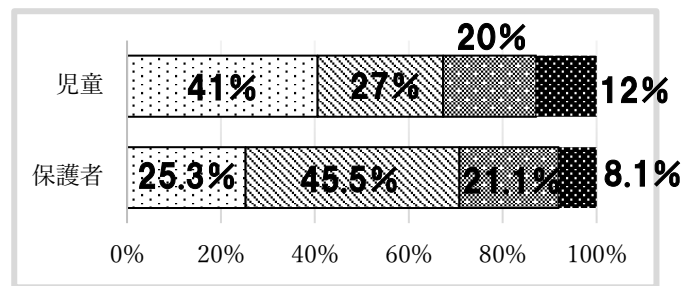
⑧ 「早寝・早起き・朝ごはん」など、規則正しい生活ができている



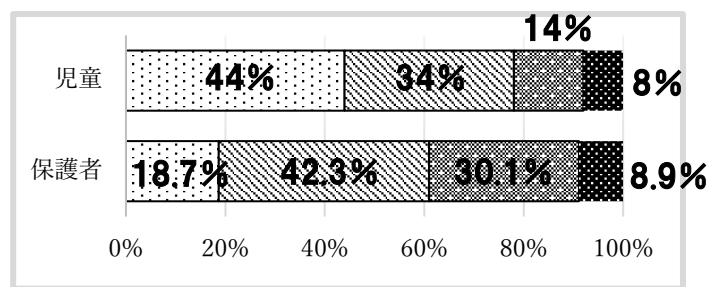
⑨ 家庭の約束や学校のルールを守っている。



⑩ 学校でのことをお家の人に話している。

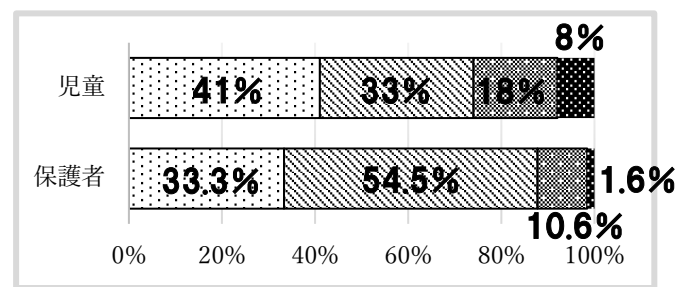


⑪ ゲームやスマートフォン・インターネット・SNS などを  
使う時間やルールを決めて守っていますか。



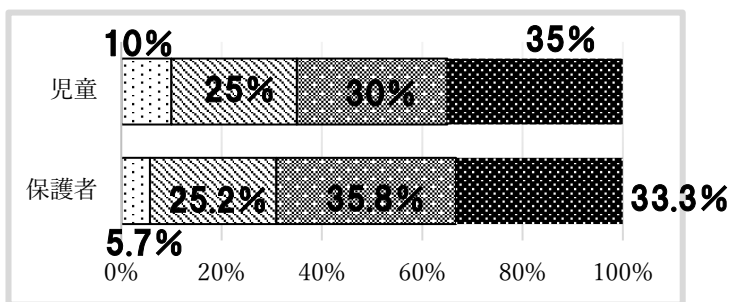
⑫ 家庭での学習時間

□ 30分未満 □ 30～60分 □ 60～90分 □ 90分以上



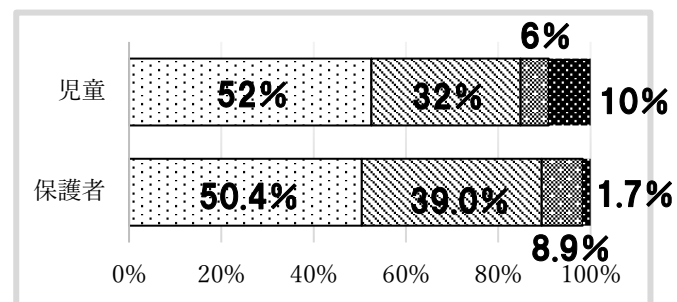
⑬ ゲームやスマートフォン等の1日の使用時間

□ 全く使わない □ 1時間未満 □ 1～2時間 □ 2時間以上



⑭ 家庭での読書時間はどれくらいですか。

□ 全くしていない □ 30分未満 □ 30～60分 □ 60分以上



4年生  
自転車安全教室  
【講師：山科署】



5年生  
環境学習  
【講師：三菱自動車】



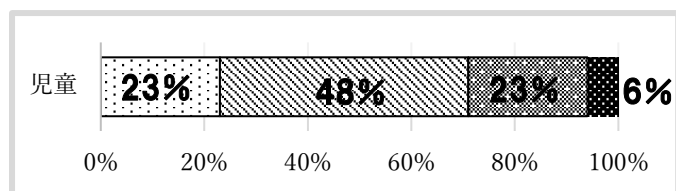
高学年  
ラグビー教室  
【講師：丸和ロジテックス】



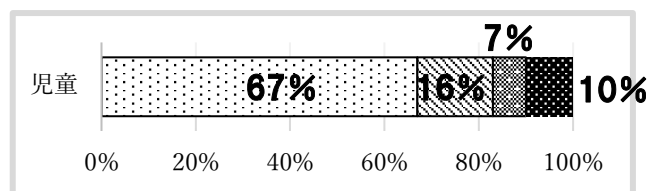
低学年  
アニラブクラス  
【講師：動物愛護センター】

## 2. 児童のみのアンケート項目

### ① 先生にほめられます。

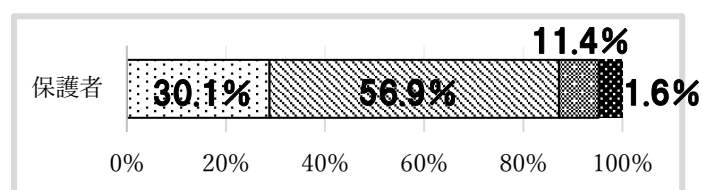


### ② 将来の夢を持っています。

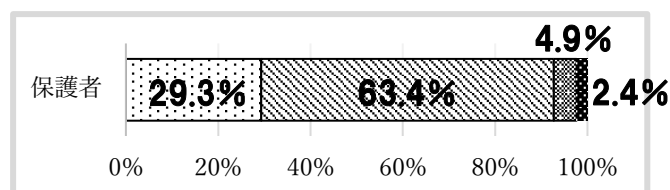


## 3. 保護者のみのアンケート項目

### ① 学校は、お便りやホームページ等で様子を伝えている。



### ② 学校は、保護者や地域の願いに応えようとしていますか。



## 後期学校評価分析・考察

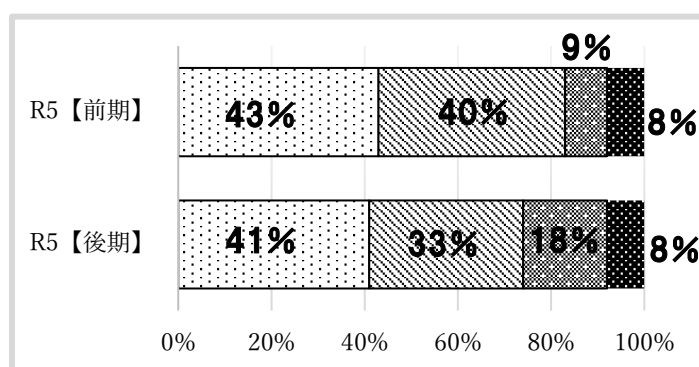
### <学習面について>

家庭学習について、前期と比較してみました。結果は、家庭学習を60分以上している人が前期より、約10%増加しました。学習したことをしっかりと定着させることが本校の課題の一つでもあります。そのためには、宿題だけでなく、自分で学習を進めていく力をつけていく必要があります。栗陵中ブロックの取組として、低学年から自主学習にも取り組んでいます。家庭学習は、保護者の協力が不可欠です。子どもたちが集中して取り組むことができるように、静かな環境を整えていただき、子どもたちの学習意欲が向上するように励ましの声かけをよろしくお願いします。

「読書」についての項目は、長年、本校の課題です。読書は、自分の内面を耕すだけでなく、読解力・語彙力を高める上でも効果的です。今年度から、これまでの取組にプラスして「醍醐中央図書館との連携」「児童による読み聞かせ」に取り組んできました。子どもたちは、学校では、読書を楽しんでいる姿が見られます。前期と比べ、全くしないという児童が16%減りました。この調子で、少しずつ本を読む習慣が身に付いてくれたらうれしいです。残りの半数の児童も、読書の習慣が身に付くよう、ご家庭でも、地域図書館を利用したり、好きな本について交流したり、読み聞かせをしたりするなどしてみたいでしょうか。

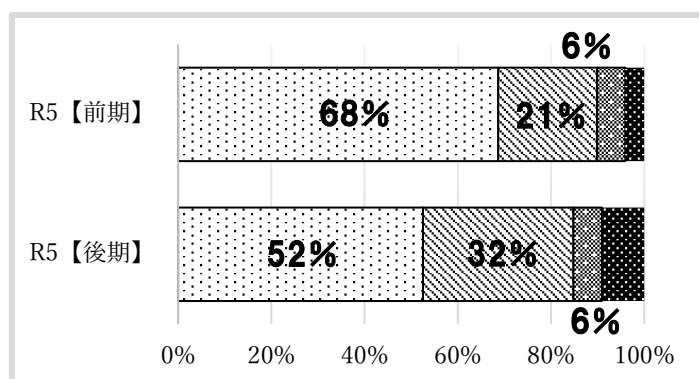
### ⑫ 「家庭での学習」に関する前期との比較

30分未満 30～60分 60～90分 90分以上



### ⑬ 「家庭での読書時間」に関する前期との比較

全くしていない 30分未満 30～60分 60分以上



## <生活について>

昨年度に比べると、「全く使わない」という児童が減り、2時間以上使用している児童の割合が、約20%増えました。また、約3割の児童が「2時間以上」ゲームやスマートフォンを使用しており、年々増加しています。

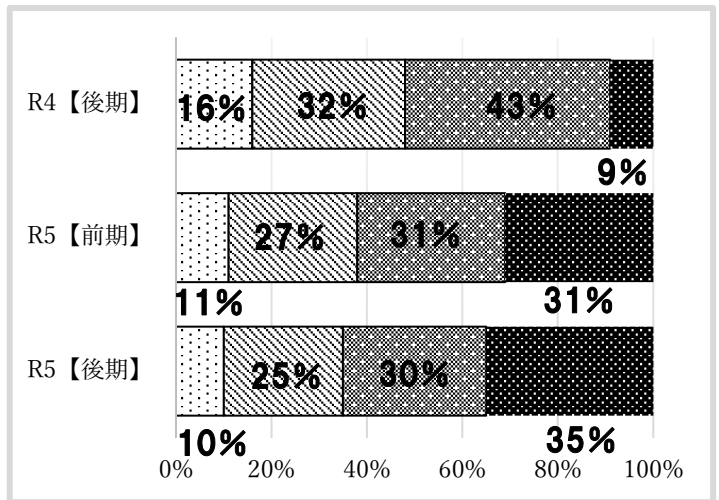
そこで学校では、年間2回の生活リズムチェックを行い、子どもたちが自分の生活を振り返る機会を設けています。それと同時に、学校でも引き続き、スマホやタブレット、ゲーム機などの健康に与える被害等について指導していますが、ご家庭でも今一度、お子達とルールについて話し合ってくださいませよう、お願いします。

### <スマホ・タブレット・ゲーム機等の健康被害>

長時間、小さな画面を見たり、就寝前や夜間に使用したりすると、視力低下や姿勢の悪化、寝不足といった子どもの心身の成長に悪影響を及ぼすことがあります。

## ⑬ゲームやスマートフォン等の1日の使用

□ 全く使わない    ▨ 1時間未満    ▩ 1～2時間    ■ 2時間以上



☆自由記述欄にもご意見いただきありがとうございます。

## ◆学習面

○自主学ノートをしっかり見ていただいて、コメントも度々下さりありがとうございます。

⇒今後も、子どもたちの励みになるよう、丁寧に見ていきたいと思ひます。

○スマホばかり使っていて、読書や運動をしないので、学校では、マラソンや読書をするようにしてほひいです。

⇒学校では、上記にも書かせていただきましたが、本に興味を持つことができるように、いろいろな取組を進めています。また、マラソン大会に向けて持久走にも取り組んでいます。学校でも、頭・身体を動かし、心身ともに元氣な児童の育成に向けてより一層取組を進めてまいります。ご家庭におかれましては、スマホばかりにならないよう、ルール作りをお願いします。

○個人それぞれの学力によるとは思ひますが、宿題にかかる時間が多く感じます。

○自主勉強の評価ばかりに氣を取られ、それをメインでするので、他の勉強がおろそかになっています。

⇒学校では、家庭学習の習慣を身に付けるために、学年×10+10分くらいで終わる量の宿題を出すようにしています。おそらく、自習学習に時間を費やしていることと思ひます。自主学習は、「10年後、20年後に生きる力」を育むために取り入れています。これからの時代、単純な作業はAIにとって替わると言われています。そのような中、新たな課題に直面したときに、新しいことを創造できる人材が、今後必要になってきます。誰かの指示を待ち、言われたことを言われたようにやる受け身の学習から、その時に何が必要かといった最善策を考え、プラスアルファの学習ができるそのような力を付けようと取り組んでいます。ご理解いただき、子どもたちに励ましの声かけをお願いします。

## ◆学校行事

○働き方改革のためか、部活動・行事内容が非常に少なくなったと思う。いろいろな制限があると思うが、小学校でしか学べないことがもっとできればと願ひます。

⇒働き方改革で時間制限のある中、部活動が以前より少なくなっているのは事実です。できる限り、子どもたちが、いろいろな体験・経験ができるよう、外部講師を招いての「スマホ教室」「環境学習」「自転車安全教室」「生き物探偵団」「アニラブクラス」「命の授業」「ラグビー体験」「そろばん教室」等行ってきました。来年度もさらに、子どもたちの体験活動の充実を図っていきたくて思ひます。

○学習発表会は、学習の成果の発表よりも劇の方が、やる側も楽しいし、親も見応えがある。

⇒昨今は、学習保障・学力保証が求められており、なかなか学習以外の時間を作り出すことが難しい状況です。そんな状況でも、児童がやる氣を持って楽しんで取り組むことができるよう、発表形態を工夫するなど検討していきたいと思ひます。